

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 二級河川 岡の下川水系 千同川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名 二級河川 岡の下川水系 千同川 通常砂防事業

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名 R2-5号No.2		調査位置 広島県広島市佐伯区五日市町坪井		北緯 34° 23' 10.6152"	
発注機関 広島県西部建設事務所		調査期間 2021年 7月 30日 ~ 2021年 8月 3日		東経 132° 19' 48.2050"	
調査業者名		主任技師		ボーリング責任者	
孔口標高 T.P. 251.99m		角 180° 上下 90° 0°		方位 北 0° 270°西 90°東 180°南	
総削孔長 7.00m		地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°		使用機種	
		試錐機 YBM05A-2		エンジン ヤンマー-NFD-10-EK	
		コア確定者		ポンプ YBM GP-3	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地層名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取番号	室原位置試験	削孔月日
												深度-N値図		N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量			
1	250.44	1.55	シルト混じり砂	シルト質砂	褐	rd1				深度0.2m以後は表土化し、落葉を混入する。概ねしよりの悪い粗粒砂～極粗粒砂で、局所的にシルトを混入する。		1.18	1	1	1	3	300			
2	249.34	2.65	シルト質砂		濃褐	rd2				シルトを多含する極粗粒砂～粗粒砂主体。φ10mm程度の亜角礫が点在している。上位より良くしまっており、上位との境界が明瞭。		1.46								
3	248.39	3.60	砂礫		灰褐	rd4				φ10～70mmの亜角礫を20～60%程度混入する。混入礫は、強風化岩片が多く容易に砕ける。基質はシルト混り細礫～中礫主体。		2.48	1	2	2	5	300			
4	247.99	4.00	強風化花崗岩		褐					岩石組織をわずかに残す。指で容易に崩せる硬混り砂状コア主体である。D1級。		3.10	10	12	14	36	300			
5			風化花崗岩		褐灰					岩石組織は明瞭である。固結マサ状主体でハンマー軽打で容易に割れる。D1級。		4.37	17	23	10	50	220			7/30
6	245.84	6.15	風化花崗岩		褐灰					岩石組織は明瞭である。固結マサと硬質岩片が交互に出現する。深度6.20～6.40m間は緑色をおびた軟質部で強風化ひん岩岩脈と推測。C1級。		5.16	20	24	6	50	210			8/2
7	244.99	7.00	風化花崗岩		褐灰							6.15	50	50	50	50			8/3	
												7.00	50	70	50	70				
													7.07							